



【巻頭言】

災害対策

一雨水利用の地下タンク一

園長 野田大燈

6 月中旬に高松市上下水道局の方々が学園の雨水利用について記事取材に来られました。

開園当初はEM池（有効微生物菌を活用してし尿を浄化させて庭木や樹木に散水）として利用していましたが、合併処理槽を設置してからは放置状態でした。

園内にハーブガーデンを設置する案が出たことから、汚水槽を校舎の雨水を引き込み地下貯留タンクとし、地上部にハーブガーデンを造ることとなりました。

経費も嵩むことから雨水利用の補助金制度を活用して容量80.08立方メートルの大型雨水貯留施設が完成しました。

現在では幾種類ものハーブが植えられ、園生たちが地下タンクの水を使って灌水し、育ったハーブを乾燥させてハーブティや入浴剤として楽しんでいます。

また毎年秋の火災予防運動月間には地元消防団が出で立ちも勇ましく貯水槽の雨水を使って三階建園舎に向かって放水訓練と救助訓練を行います。

特に救助訓練で3階からロープを使って救助する消防隊の迫真に迫った訓練に併せて学園の避難訓練を行います。毎月惰性の如く行っている避難訓練に喝が入って行動が速やかになります。

火災も含めて災害から園生を守ることが職員

の責務ですので、あらゆる災害を想定して準備を整えつつあります。

園生約25名に職員を加えると35名以上の学園が地震に遭遇すると、避難に使用すべき県道の主幹道路が土砂により崩落して通行不能となって「陸地の孤島」となります。

救助の手が差し伸べられる迄の数日を如何に過ごすかが問われますのでその対策として

- ① ヘリポートの設置
- ② 水源地の確保（隣接する財団法人喝破道場敷地内の水源地共有）
- ③ 緊急用避難テント場と野外炊飯場の設置（常時はスクールバスの車庫）
- ④ 5日分非常食の保管・管理

と園生の安全と安心のために対策を講じています。

児童施設は特に食中毒などに敏感ですので園生は厨房に立ち入ることが禁止されているために調理のプロセスが理解できません。

そのために休日の土・日曜日に「野外炊飯」と称して園生たちが食事を作るようにしています。勿論、食育担当の職員の指導のもとに林の中から薪になる小枝や枯れ木を集めてきて火を起こすことから初めて、今では園生自身で簡単な食事を作ることができます。

すべて『災害が起きたら…』という想定によるものですが、彼らが成長して災害に遭遇しても決して困らないでしょうし、むしろ被災の場でよき指導者として貢献できると思います。

学園では「自分のことが自分で出来るのは当たり前。大切なのは困った人のために何が手助けできるかだ」と教えています。

—了—

すわらじ公演

(株)タダノ様のご招待で毎年恒例のすわらじ劇団公演を見に行ってきました。夜の公演だったので、夕食や入浴を早めに済ませ、いざ出発！！

夜の外出は子ども達にとっては新鮮でそわそわしているのが印象的でした。

公演内容は江戸町を舞台に繰り広げられるほのぼのとした姉弟愛の物語で子ども達には少し難しい内容でしたが、全員終わりまで見入っていました。

バスの帰り道では、月が満月でとても綺麗でした。一人の男の子が「うさぎおるかなあ」と目を輝かせており、微笑ましい光景でした。

たけど麺が入っていると美味しいね」と感想を伝えてくれる子もいて、料理をすること、食べることへの興味がまた大きくなったようでした。

子ども達のほとんどは食べるのが大好きで、「今月は何作るの?」と聞いてくる子がたくさんいます。「次に食べたい物は?」と聞くと「たこやき!」と答えが返ってきました。



遍路小屋

6 月 6 日に遍路小屋に行き、子ども達がお接待をしました。天気も良かったので、沢山の人が歩いていました。最近では、海外からも[四国 88ヶ所めぐり]をしているようです。この日は、韓国の方が巡礼していました。子ども達は、「お疲れ様です。頑張ってください。」とハーブティとおやつを笑顔で渡していました。



タマネギ収穫

新玉はすごくからかったけど、おいしかった。

でもしゅうかくはすごくたいへんでした。体中アリのがぼってきたり、毛虫がズボンにはいたりしました。(小学 5 年生)



食育モダン焼き

6 月 13 日(土)の食育は子ども達が自分で自分の食事を作る事が出来るようにと考えてモダン焼きを作りました。グループに分かれて作り始めると、大人がびっくりするほど手際よく役割分担をして料理を楽しんでいました。また 1 人 1 回は生地をひっくり返すことに挑戦しました。緊張しながらも上手にひっくり返し、満面の笑みで「やった!」と嬉しさを表現していました。「モダン焼きを初めて食べ

若竹学園夏祭りご案内

7 月 11 日(土) 17 時~19 時、若竹学園園庭に於きまして、夏祭りを開催します。是非足を運んでください。



6月若竹学級だより

体カテスト第2弾 5月22日(金)

第2弾として、シャトルランと立ち幅跳びの測定をしました。シャトルランでは、1回目の記録に満足できず、もう一度チャレンジした子どもたちも多くいました。立ち幅跳びでもよい記録を出そうと何度でもチャレンジする姿がみられました。自分を奮い立たせ、高めていこうとするチャレンジ精神をこれからも様々な場面で発揮してほしいと思います。友達のがんばる姿に励まされ、思った以上の記録を出せた子もいました。



ビジターセンター訪問 6月5日(金)

中学1・2年生、小学3・5年生で五色台ビジターセンターを訪問しました。あいにくの雨でしたが、雨具を着て、まずは山歩きに出発。途中、クズの葉っぱで音を鳴らしたり、網でチョウを捕まえたりしながら、目的地の池まで行きました。雨で池の生き物たちは身を潜めているようでしたが、岸に立ち、網ですくって生き物をつかまえようとする子もいました。

その後、館内で段ボールクラフト体験をしました。切り取った段ボールを組み合わせ、ハムスターやカブトムシを作りました。思い思いに色づけもして、お気に入りの作品に仕上げることができました。

学園に戻ってからかいた振り返りの表現物から、子どもたちが充実した時間を過ごし、

心に残るよい体験ができたことが伝わってきました。



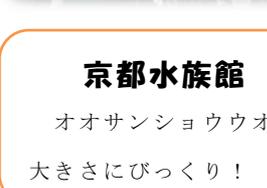
修学旅行 6月4日(木) 5日(金)

中学3年生と小学6年生は、京都・大阪方面へ修学旅行に行きました。旅は人を大きくさせます。経験した事や感じた事が今後どのように生活に活かされてくるか楽しみです。



伏見稲荷大社

「願いが叶いますように」たくさんのことをお願いしました。



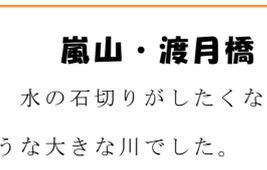
京都水族館

オオサンショウウオの大きさにびっくり！



金閣寺

人の多さに戸惑いましたが、集団行動ができました。



嵐山・渡月橋

水の石切りがしたくなるような大きな川でした。



インスタントラーメン発明記念館

どの具材にしようか〜迷って迷って迷いました。

平成 26 年度会計報告

平成26年4月1日から平成27年3月31日 (単位:円)	
勘定科目	決算額
利用料収入	1,705,622
措置費収入	304,893,023
子育て短期支援事業収入	357,560
経常経費補助金収入	909,400
寄付金収入	473,000
雑収入	3,557,457
国庫補助金等特別積立金取崩額	8,846,358
事業活動収入計①	320,742,420
人件費支出	171,521,594
事務費支出	35,346,590
事業費支出	51,556,497
減価償却費	14,523,432
引当金繰入	1,456,364
事業活動支出計②	274,404,477
事業活動収支差額③(①-②)	46,337,943
事業活動外収入計④	8,000,000
事業活動外支出計⑤	8,000,000
事業活動外収支差額⑥(④-⑤)	0
経常収支差額⑦(③+⑥)	46,337,943
特別収入計⑧	11,990,152
特別支出計⑨	10,108,051
特別収支差額⑩(⑧-⑨)	1,882,101
当期活動収支差額合計⑪(⑦+⑩)	48,220,044
前期繰越活動収支差額⑫	70,516,097
当期末繰越活動収支差額⑬(⑪+⑫)	118,736,141
その他の積立金取崩額⑭	17,064,000
その他の積立金積立額⑮	53,000,000
次期繰越活動収支差額⑯(⑬+⑭-⑮)	82,800,141

平成26年度 貸借対照表

平成27年3月31日現在 (単位:円)

資産の部	
流動資産	69,441,401
基本財産	217,668,920
その他の固定資産	388,073,976
資産の部計	675,184,297
負債の部	
流動負債	15,626,013
固定負債	5,915,853
負債の部計	21,541,866
純資産の部	
基本金	104,976,462
国庫補助金等特別積立金	128,538,028
その他の積立金	337,327,800
次期繰越活動収支差額	82,800,141
純資産の部計	653,642,431
負債及び純資産の部合計	675,184,297

平成26年度苦情・要望報告

1. 受付件数 総数 0 件(内訳:苦情 0 件・要望 0 件)
2. 受付方法 苦情ボックスを若竹学園玄関に設置
3. 苦情申し出人 利用者 0 名



行事

- 3 日 すわらじ
- 4、5 日 修学旅行
- 1 3 日 食育・図書館
- 1 8 日 買物学習
- 2 7 日 さらスポーツ

在籍人数 平成 27 年 6 月 25 日現在

区 分	県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)	
男子	小学生	0	6	6
	中学生	5	3	8
	その他	0	0	0
	計	5	9	14
女子	小学生	2	0	2
	中学生	4	1	5
	その他	0	0	0
	計	6	1	7
合計	11	10	21	

編集後記

今月は夏祭りの準備で大忙しな子ども達。一人ひとり割り振られた仕事を責任持って取り組んでいます。児童指導員 田窪

第 257 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>

Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈